

記入例 離婚後、子を養育している母が親権者を自分に変更する調停を求める場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

受付印		審判 家事 申立書 事件名 () <u>調停</u>
収入印紙 円 予納郵便切手 円 予納登記印紙 円		この欄に収入印紙をはる。 1件について甲類審判 800円分 乙類審判 1,200円分 調停 1,200円分 印紙 (はった印紙に押印しないでください。)

準口頭	関連事件番号 平成 年(家)第 号
-----	-------------------

家庭裁判所 御中 平成 年 月 日	申立人 〔又は法定代理人など〕 の署名押印 又は記名押印 乙野花子 (印)
-------------------------	---

添付書類	
------	--

申立人	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立の場合は、記入する必要はありません。)
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇番地
	連絡先	〒 - 電話 () () 方
	フリガナ氏名	大正 昭和 〇〇年 〇月 〇日生 乙野花子
職業	会社員	
※ 相手方	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立の場合は、記入する必要はありません。)
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇番地
	連絡先	〒 - 電話 () () 方
	フリガナ氏名	大正 昭和 〇〇年 〇月 〇日生 甲野太郎
職業	会社員	

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください。(携帯電話でも構いません。)

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分には、申立人、相手方、法定代理人、事件本人又は利害関係人の区別を記入してください。

親権の変更を求める未成年の子について記入してください。

※	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。)	
未成年者	都道府県	相手方の本籍と同じ	
	住所	〒 -	電話 () () 方 申立人の住所と同じ
	連絡先	〒 -	電話 () () 方
	フリガナ氏名	甲野 一郎	大正 〇年 〇月 〇日生 昭和 〇年 〇月 〇日生 平成 〇年 〇月 〇日生
	職業	〇〇小学校 6年生	

申 立 て の 趣 旨	
未成年者甲野一郎の親権者を相手方から申立人に変更する 調停を求めます。	
申 立 て の 実 情	
<p>1. 申立人と相手方とは、昭和〇年〇月〇日に結婚しましたが、矢張り間に不和を生じ、平成〇年〇月〇日に協議離婚しました。その際、相手方の強い希望により、やむを得ず長男一郎の親権者を相手方としました。</p> <p>2. しかし、相手方は一郎を全く養育せず、離婚後も申立人が一郎を養育して現在に至っています。</p> <p>3. 一郎は現在、小学6年生で、申立人が親権者でない、中学進学などで何かと不便であるのでこの申立てをしました。</p>	

この申立てをするに至ったいきさつや事情を分かりやすく記入してください。

親権の変更について相手方が同意しているような事情がある場合には、そのこともこの欄に記入してください。